

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民共生センター 働き方改革・女性活躍推進室

2 施設所在地
富山市湊入船町6-7

3 施設設置年度
平成8年度

4 設置目的
男女の人権が尊重され、かつ、豊かで活力のある社会の実現に寄与するため、富山県男女共同参画推進条例第16条に規定する男女共同参画を推進するための拠点となる施設として設置。

5 施設概要
鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積：6,854.05㎡
延床面積：7,640.87㎡

【入居機関】
富山県消費生活センター、富山県不妊専門相談センター・富山県女性健康相談センター、富山新卒応援ハローワーク・マザーズコーナー、富山県婦人会、富山県消費者協会、女性就業支援センター

6 指定管理者
サンフォルテJOIグループ

7 指定期間
5年
平成(令和)31年4月1日 ~ 令和6年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
4,025	2,626	3,265	3,446	3,416

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R1	R2	R3	R4	R5
29,106	17,719	22,815	24,446	24,890

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R1	R2	R3	R4	R5
29,286	29,555	29,555	29,555	29,555

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・研修室の利用率はコロナ禍前の8割程度まで回復。利用者数についてはリアルとオンラインを併用した講習会やイベントの開催により、コロナ禍前より増加している。

(2) サービス向上に向けた取組み

・講座、講習会後に毎回実施しているアンケート結果を基に事業評価会議を行い、次回事業への反映を行うなど、利用者のニーズに即応した事業展開に努めている。
・子育て中の方が安心して講座に参加できるように一時保育事業を行っている。
・また、講座の実施にあたっては、アフターコロナの新たな生活様式・利用ニーズにも対応するためにオンラインを活用して柔軟に開催するなど施設運営・満足度の向上に取り組んでいる。
・新型コロナウイルスの「5類感染症」移行後も、施設の玄関3箇所に自動センサー付き消毒噴射器と非接触型体温計の設置、館内の清掃・消毒の徹底、施設利用後のチェックシート提出等を継続して行い、安心して利用者に訪れていただけるように取り組んでいる。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・図書館や総合案内横において、季節感あふれた展示を実施し、快適な空間作りを行っている。
・展示コーナーやモニュメント周辺を活用し、男女共同参画に関する情報を提供する場として県民のニーズに合った情報提供を行っている。
・県民ニーズを捉えたタイムリーな男女共同参画事業の企画・実施や登録グループ・団体に対する減免制度の適用により施設利用の促進に努めている。
・SNSを用いた広報の実施や若年層に人気のある講師の講演会を行うなどを若年層の利用を促進している。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	施設利用者に向けたアンケートは実施していない。
回答者数	-
結果	-
結果を踏まえた改善事項	-

② その他利用者の声を反映させる取組み

・講座ごとに受講者を対象としたアンケートを実施している。
・施設利用者に対しては、総合案内にご意見箱を設置している。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報については、職員に周知を図っており、適切に取り扱われている。

(6) 関係団体との連携

・登録グループとの協働事業を実施している。
・学校等と連携し、学童期、青年期から男女共同参の普及・啓発に取り組むことにしている。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・定期的に保守点検を実施し、適切に管理されている。
- ・防犯上の観点から、防犯カメラの設置を進める必要がある。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・職員が定期的に館内を巡視し、施設設備等の目視点検及び不審者がいないかを確認している。
- ・施設設備の定期的な安全点検を実施している。
- ・非常時の避難経路図、緊急連絡網、緊急時対応マニュアルを作成し、避難訓練を実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・開館から25年以上が経過し、経年劣化が進んでいることから修繕箇所が多くなっているため、県と連携して計画的な修繕・改修を行っていく必要がある。
- ・新型コロナウイルスの「5類感染症」移行後も状況を見極めながら必要な対策を講じ、利用者にとって安全・安心で快適な空間づくりと県内唯一の男女共同参画の拠点として県民ニーズにあった事業展開を行い利用促進に取り組んでもらいたい。